

第2号では、第1号で掲載した5月15日に行われた3年生の分野別進路ガイダンスの紹介の続きからです。

### 3年生ガイダンス(5/15実施)報告その2

5月15日(木)の5・6限の時間に進路ガイダンスが行われ、多くの大学・短大・専門学校が参加し、直接それぞれの大学・短大の様子や特徴について聞く機会があり、みんなにとって色々参考になることがあったと思います。そこで得た知識を参考にしながら、今後も多くの学校のパンフレットを取り寄せて調べたり、インターネットでも検索してみることも必要でしょう。そして何より、6月の三者面談の時や期末試験後の時間を利用したり、さらには夏休み中に、自分が考えている学校のオープンキャンパス・体験入学などに参加して、自分の志望校をしっかりと決める事が重要でしょう。さらに、志望校が決まっても入学できなければ何もならないので、入試の方法、その内容、受験の教科等をしっかりと調べて、その準備をすぐにでも行っていくことが大切です。

#### 就職・公務員

就職・公務員クラスは講師に大原簿記法律専門学校柏校の先生を迎え、5限に民間企業・公務員の就職概要、6限に面接試験の対策について、お話しやご指導いただきました。

講師の先生は実際に専門学校で学生に教えているだけではなく、学校の職員を採用する時の面接も担当されていて、生徒を送り出す立場と採用する立場両方からのお話しをうかがうことができました。

5限は就職するという心の構えから始まり、企業が求める人物像(積極的な人・創造性の高い人・幅広いバランス感覚を持った人)・就職活動の流れや正社員とその他雇用との違い、公務員試験の対策や現状についてお話しいただきました。

6限の面接試験の対策では基本的な動作やよくある質問だけでなく、声のだし方(男子は張りのある声、女子は丁寧な声)や姿勢など細かい点もご指導いただいた後、一人ずつ入室の仕方を見ていただき終了となりました。面接試験のときだけ整えていくというのはメッキがはがれるので、日々の過ごし方が大切であるとお言葉に共感しました。



#### 大学・短大

大学・短大・専門のそれぞれの部屋・ブースを回ってみましたが、ほとんどの人達が真剣に話を聞き、身を乗り出しながら聞いている様子に、みんなの熱気と情熱を感じました。これをきっかけに、是非進路室の資料を見たり、図書室の小論等の本を見たりして、受験のための準備に本格的に動き出してくれることを期待したいと思います。

それぞれの大学の部屋を訪れたときの内容を中心に、以下に記事を書いておきます。

## 和洋女子大学

和洋大学は2年前から、学部でなく学群に分かれていること、それぞれの学群の特徴、また学群の選択の仕方の注意事項等が話されました。その中で、健康栄養学群は実習が多く、生物・化学的な内容を理解していく必要性が話されました。健康栄養学群は人気が高く、2倍を超える競争率があるため、他の学群より厳しいことを覚悟しなければならないこと、さらにAO入試がないため、公募制と一般入試で挑戦する必要があることが話されました。また、それぞれの学群ではどんな資格が取れるかも調べ、それも選択の一つとして考えていくことも話されました。なお一般受験の人は、是非赤本などで過去にどんな試験内容が出されているかも調べてみてくださいとも話されました。

## 帝京平成大学

帝京平成大学の話を書く生徒はそれほど多くはなかったのですが、それだけに少数でじっくりと話の内容が聞け、その点ではよかったのではないのでしょうか。

希望の分野としては福祉関係、理学療法関係、経済関係を希望する生徒がいたため、その内容を中心に話されていました。また、池袋キャンパスが出来たことにより、通学の便もよくなったことも話されていました。

## 麗澤大学

麗澤大学は比較的人気が高く、話を聞く生徒は十数人前後と多くいました。話の内容としては、語学系は三つの専攻がありますが、コミュニケーションは必修になっているということでした。なぜ必修になっているかという、コミュニケーションはどの専攻分野に行っても、人と関わりコミュニケーションを交わして行くことは大切であり、必ず必要なスキルであるということによってそうになっているということでした。それから留学制度もあり、専門の留学制度とクロス留学制度があるということでした。クロス留学制度は、例えば英語を専攻していても、中国に留学することが出来るということでした。その他に、外部からの留学も多く、そうした人たちとの交流も十分出来るということでした。



## 千葉商科大学

最初は話を聞く生徒は少なかったのですが、二回目には比較的多く話を聞く生徒がいました。この大学の一つの特徴である政策情報学部について解説がありました。この学部が設置されたいきさつとしては、慶応大学からいらっしゃった元学長が、一つの学部だけでは現代の問題に対処できなくなっている、したがって多くの学部を横断した広い視点に立って問題を考える必要があるということで設けられた学部であるということでした。こうして学部の壁を取り去った学問領域で現代の問題解決に当たるということが大きな特色になっていることが話されました。

## 千葉経済大学

大学で学ぶというのは、いまの高校で学ぶこととは根本的に違うのだと言うことが話されていました。高校では教科書の内容のみを学び、それを覚えていけばよかったが、大学では教科書はないし、それぞれの講義によって、その大学の先生の書いた専門書を使ったり、プリントを使ったり、あるいは何もなくて講義のみの場合もあるということ、そして自分で色々調べたり、考えていくことが要求されてくるということが話されました。

## 文教大学

文教大学の中には国際理解・国際観光学部があるが、この学部は地球環境・開発資源について学んだりすることになり、また観光が注目されるなかで人気が出てきているということでした。この学部は、企業での研修が出来ることになっているが、これは就職でミスマッチを防ぐために行っているということでした。英語が出来てこれらのことに興味のある人には面白いでしょうということも話されました。

## 聖徳大学

幼児教育についての話だと思われるのですが、ピアノが出来てそちらで力を発揮する人、また折り紙で面白いものを作る人等の一人一人が自分の持ち味を發揮しながら学んでいるということでした。AO入試では昨年度約2倍ということで結構人気があるということ、ピアノが出来なくても、自分の得意な面をアピールすることにより充分合格の可能性があることが話されました。そして、それらAO入試の前には、オープンキャンパスに参加していろいろな情報を収集することが大切であることも話されました。

## 駒沢大学

駒沢大学は大変人気が高く、30人ぐらいが話を聞いていました。

歴史学科についての話と思われるのですが、同じ歴史を勉強していくにしても、それぞれの大学で重点に学ぶ内容は随分と違ってくるので、それぞれの大学の歴史学科でどのような内容を学ぶのかを詳しく調べ、自分が本当に学びたい学校を選んでいかないと、入学してからこんなはずではなかったということになってしまうことが話されていました。

社会学は、幅広いことを学んでいくので、まだどんな内容を学ぶか迷っている場合にはこの学部を選び、学びながら絞っていく手もあるのではないかとということでした。これとは反対に、社会福祉学部は、狭い分野を深く学ぶことになり、国家資格を得るための勉強をするので、本当にその分野を学び、その方面に進むという人でないとだめであることや、心理学科は、実験がかなり多く、実験・実習が好きな人でないとだめであることなども話されました。

## 東洋大学

おそらく一番人気のある大学で、一回の話を聞く人が40名近くで、ぎっしりという感じでした。ただ残念だったのは、ちょうど話が終わってしまって、具体的な内容が聞けなかったことでした。もし話の内容が知りたい人は、70名近くの人に参加しているはずですから、その人達から直接聞いてみてください。きっと有益な話がなされたと思います。



## 東京電機大学

情報環境学部は佐倉キャンパスにあるが、大変緑が多くてきれいで、1000人ぐらいと比較的にじんまりとしており、学びやすい環境にあるということでした。そして単位を取った分だけのお金を支払うというシステムがユニークであるということも話されました。

埼玉にある理工学部は、学系で構成されていて、その中でコース制が取られているということでした。

た。講師から聞かれて、生徒はまだどの学部か決めてない人が多くいるようでしたが、もうそろそろ詳しく調べ、オープンキャンパスに参加したりしながら、自分の進むべき道を決めていくべきでしょう。

### 千葉工業大学



大学に行く意味を話されていましたが、大学で幅広く深く学ぶことにより、職業選択の幅が広がるという面もあることを強調されていました。千葉工業大学のパンフレットは、学部・学科とその学部学科を卒業した後の進路先がわかりやすく書いてあるので、その進路先を見ながら、自分の将来の進路を充分に考え、それにあった志望の学部・学科を決めて欲しいことも話されていました。

### 国士舘大学

AO入試は、応募の条件が三つあるが、それらの条件を満たせば受験できるので、積極的に出願して欲しいという話がされました。また今年度から、中期入試も行われることになったので、それだけ受験のチャンスが広がったことも話されていました。どの学部も英語と国語は必修で、その他の科目は学部で違うこと、特に体育では、実技試験があるということ、それから他の学部との併願が可能であるということも話されていました。

これらの大学の他に、東京農業大学、東邦大学、二松学舎大学、立正大学、拓殖大学、東海大学の講師が来て話されましたが、そちらの話は聞けませんでしたから、もし話の内容が知りたい人は、それらの大学に参加した人から内容を聞いてみてください。

## 挑戦しよう！

- 1 ( X )に入る単語は何ですか。(拓殖大学 2008 年度入試問題)

「あなたは、もう宿題を終わらせたはずだ。」

You ( ) ( ) ( ) ( X ) ( ) ( ) homework by now.

- ① have ② supposed ③ your ④ finished ⑤ are ⑥ to

- 2 英語のことわざ、日本語に訳しなさい。(高校生の就職一般常識より)

A drowning man will catch at a straw.

- 3 次の問いかけに対してあなたならどう応えますか。そして、なぜそう答えるのが望ましいと考えますか  
800字以内にまとめなさい。(浜松医科大学 看護 2004 年度入試問題)

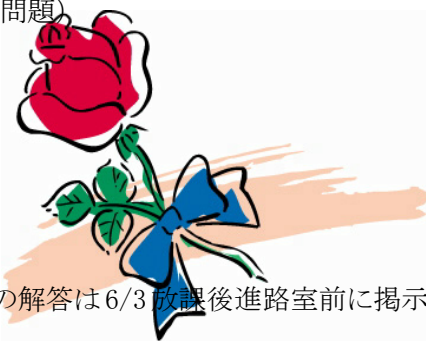
一人の病人からこう問われたとする。

「私は、もう助からないんだよね…」

あるいは、

「私は、もうすぐ死ぬんだよね…」

その病人はあなたの唯一無二の親友である。



< 1、2の解答は6/3放課後進路室前に掲示 >